

7月24日(日)は静岡県知事選挙の投票日

忘れずに「GO!選挙。」

近年、国、県、市町村いずれの選挙も投票率の低下が問題になっていきます。政治の世界は日常生活から離れて見えるため、興味を持っていない方もいるようです。しかし投票は、県民の皆さん一人ひとりの思いを政治に反映させることができる大切な権利です。7月24日(日)は静岡県知事選挙の投票日。あなたの貴重な一票を有効に生かしてください。

若者に目立つ低投票率

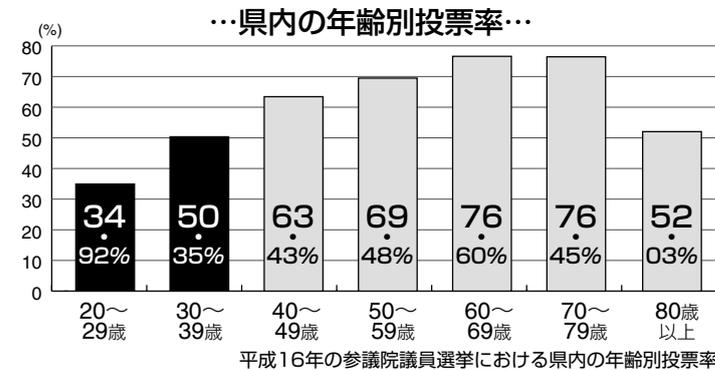
静岡県知事選挙の投票率をみると、昭和49年の81.04%が、平成13年には62.15%に落ち込んでいます。

最近の選挙でも目立つのが20〜30歳代の若い人の低投票率です。「選挙に関心がない」「投票しても政治は変わらないと思う」といった意見が棄権理由に挙げられています。

GO!選挙。
大人のみなさんへ
お願いです。



イメージキャラクター 長澤まさみさん



あなたの一票が未来をつくる

教育、福祉、環境、産業振興など、豊かで暮らしやすい社会の実現のために私たちの代表者を選ぶこと、それが選挙です。投票は私たちの大切な権利です。私たちの未来のために、一人ひとりが自覚を持ち、一票を投じましょう。

投票率アップを目指して

県選挙管理委員会では今回の静岡県知事選挙に

静岡県知事選挙

投票日 7月24日(日)
投票時間 午前7時～午後8時
(一部の地域を除いて午後8時まで投票できます)

※当日は駿東郡選挙区の静岡県議会議員再選挙も行われます。また、7月3日(日)には伊東市選挙区の静岡県議会議員補欠選挙が行われます。

※なお投票日当日、仕事や旅行などで投票できない場合は、手続きが簡単な「期日前投票」をぜひ活用してください。

【問い合わせ】 県選挙管理委員会
☎054(221)2050
<http://www.pref.shizuoka.jp/senkan/>

イメージキャラクターとして長澤まさみさんが登場

今回の静岡県知事選挙のイメージキャラクターを務めるのは磐田市出身の女優・長澤まさみさん(18歳)。キャッチフレーズは「GO!選挙。大人のみなさんへお願いします。」。ポスターなどで長澤さんを見かけたら静岡県知事選挙のことを考えてください。



直筆メッセージ



長澤さんは、第5回「東宝シンデレラ」でグランプリに選ばれ、以後数々の映画やテレビドラマで活躍。昨年出演映画「世界の中心で、愛をさけぶ」は純愛ブームを巻き起こしました。

実際、7月7日の告示日から24日の投票日まで、啓発キャンペーンを実施します。「GO!選挙。」を合言葉に、選挙への参加を呼び掛けていきます。ぜひご注目ください。

豊かな暮らしを支える公共事業

安全快適な県土づくり

問い合わせ 県建設政策室 ☎054(221)3533
<http://www.pref.shizuoka.jp/doboku/doboku1.html>

第1話 大雨の時に力を発揮

昨年、日本に上陸した台風は過去最高の10個でした。その時、県内各地に造られた放水路やダムなどが、水害を軽減するために大変活躍しました。



昭和49年の七夕豪雨では、旧静岡・旧清水両市の巴川周辺で浸水した家が約2万6000棟もありました。一方、昨年6月同地域で時間当たりの雨量では七夕豪雨を超える猛烈な集中豪雨があり、不幸にも被害が出ましたが、この時浸水したのは109棟。同市郊外にある麻機遊水地が巴川の急激に増えた水を約90万m³ため込み、

大谷川放水路は延べ380万m³の水を直接海まで運び、川があふれることを防いだからです。この水の量は合わせて東京ドームの3.7杯分。七夕豪雨をきっかけに巴川などで総合的な治水対策が行われたことが被害を減らすことに役立ったのです。

昨年10月の台風22号の時には、伊東市では宇佐美地区に大きな被害がありました。しかし、同市の伊東大川で

は上流の奥野ダムが、約80万m³の水をため、少しずつ放流、川がはんらんしないようにしました。おかげで下流の同市桜木町ではダムがなかった時と比べ水位が44cmも低くなりました。飲み水の確保などの利水のほかに、いざというときのための治水機能もダムは持っているのです。

これからも県では、皆さんの安全を守るため、伊豆市の八木沢大川や西部の太田川水系など県内各地で治水対策工事を進めていきます。